

■ SL シリーズ ファームウェアアップデート手順 V1.0

株式会社エーディテクノ サポート部

【適用型番】

この手順は、SL2380S、SL2700S、SL3150S の業務用ディスプレイに適用します。

【準備するもの】

- ①ディスプレイ本体と AC アダプター、電源ケーブル
- ②映像ソース機器（SDI 出力、HDMI 出力、DVI-D 出力、アナログビデオ出力のいずれか）と
接続ケーブル 各 1 台
- ③USB メモリ（USB2.0 で容量 32GB 以下） 1 個
- ④パソコン（USB ポート付） 1 台

【ご注意】

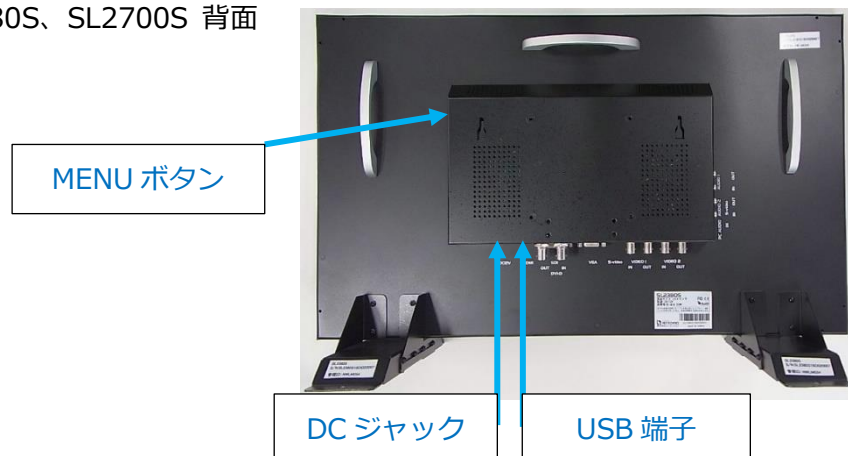
- ・メニューの各設定値が工場出荷状態となりますので、設定値を変更して使用されている場合は必要に応じてメモしてください。
- ・本アップデートを行うとモニター内部での通信回数が増えるため、電源オン時に映像が表示するまで 3～4 秒長くなりますのでご注意ください。
- ・ディスプレイ本体のメニュー“OSD 設定”の“バージョン” が “220330HD19” より上の場合は、このアップデートを行う必要はありません。

【手順】

1. パソコンに USB メモリを接続し、FAT32 でフォーマットします。
2. “SL_Series_Firmware_v220330HD19_zip”を解凍したフォルダ内の
「MSTFLASH_LONG_FILE_NAME_SLseries_220330HD19.bin」 ファイルをその USB メモリに
コピーします。ファイル名を「**MSTFLASH_LONG_FILE_NAME.bin**」へ変更します。
その後、パソコンから USB メモリを取り外します。
※USB メモリにこのファイル以外は入れないでください。
3. 映像ソース機器をディスプレイ本体と接続し、映像が表示されている状態にします。
次にディスプレイ本体の DC ジャックから AC アダプターからの DC プラグを抜きます。
(ディスプレイ本体用 AC アダプターの電源ケーブルをコンセントから抜くことでも
構いません)。

4. USB メモリをディスプレイ本体の USB 端子に差し込みます。

●SL2380S、SL2700S 背面



●SL3150S 背面

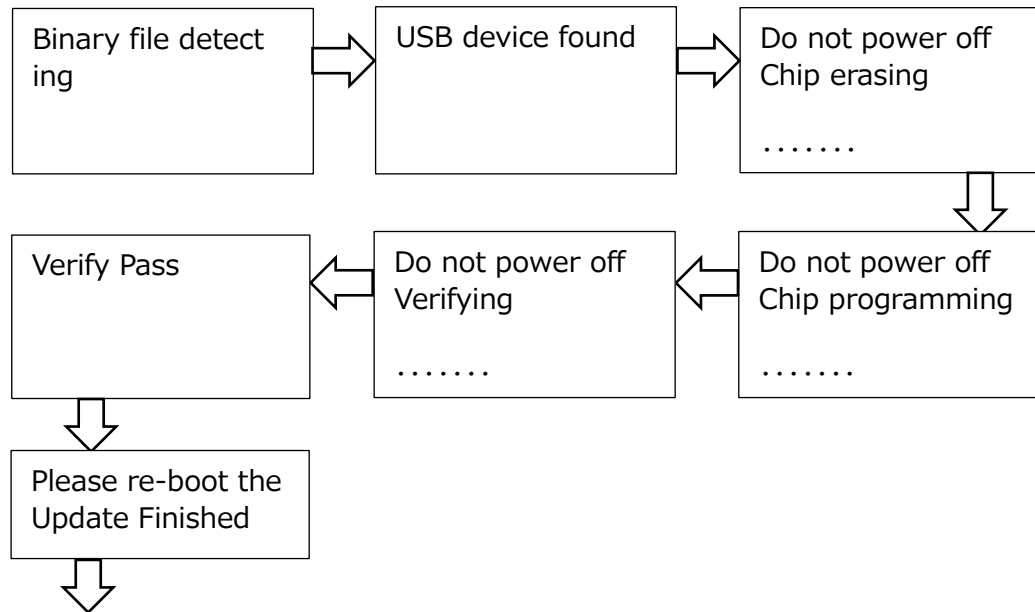


5. ディスプレイ本体の「MENU」ボタンを押し続けた状態で、AC アダプターからの DC プラグを DC ジャックに差し込みます（AC アダプターの電源ケーブルをコンセントに差しても構いません）。
10 秒以上経過したら、「MENU」ボタンを離します。

※この時、本体右下の電源 LED は消灯したままとなります。

6. ディスプレイ本体の画面左上に下記のような文字が表示され、約 30 秒後に本体右下の電源 LED が緑色で自動点灯し再起動します。

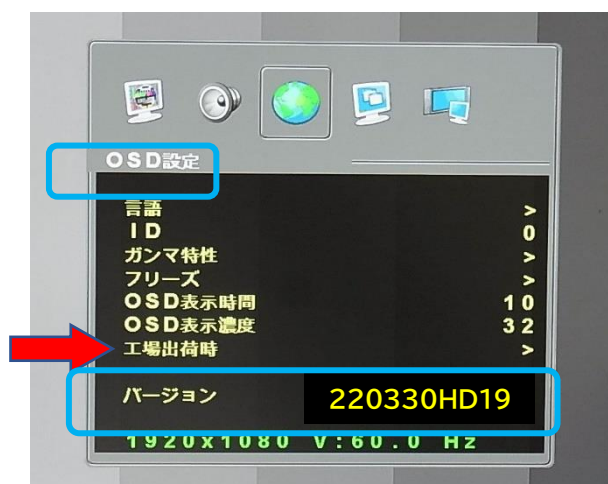
【画面上の文字表示例】



電源 LED が緑色で点灯し自動的に再起動します。

※自動的に再起動しない場合は、再度、手順 1 からやり直してください。

7. 再起動後、ディスプレイ本体の“MENU”ボタンを押し、“◀”、“▶”ボタンを押しして“OSD 設定”内の「バージョン」が “220330HD19” に変わっていることを確認してください。



同じ“OSD 設定”画面上で、本体の「AV」ボタンを押し、「◀」、「▶」ボタンを繰り返し押しして“工場出荷時”を選択して、再度 「AV」ボタンを押してリセットを実施します。
入力切替が「AV1」に替わりますので、本体の「AV」ボタンを押して、使用している入力に切り替えてください。

8. ディスプレイ本体の DC ジャックから AC アダプターからの DC プラグを抜きます。
(ディスプレイ本体用 AC アダプターの電源ケーブルをコンセントから抜くことでも
構いません)
次に USB メモリをディスプレイ本体から抜きます。

以上